



長野県議会議員 上伊那選挙区選出 1期目

Vol.11

Contents

- あいさつ
- 令和4年1月臨時会について
- 新型コロナウイルス感染症について
- 令和3年11月定例会について
- その他の活動について
- 次回定例会の日程(予定)
- あとがき

清水まさやす 県議会だより

ブログ まさやす日記

検索



facebook.com/masayasu.shimizu



s.m@eagle.ocn.ne.jp



facebook

ご挨拶

新年おめでとうございます。旧年中も清水まさやすの活動に対し、ご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。本年も変わらずご指導頂きますようよろしくお願い申し上げます！

今号は、11月定例会と1月14日の臨時会など、上記 Contents(目次)の内容をお知らせします。原稿完成から発行までに日数がかかります(最終原稿1月18日)ので、機を逸した内容もあるかもしれま

せんがご容赦ください。また、最新情報は県のホームページなどでご確認ください！

「文字ばかりではなく、写真を多くした方が良い」など紙面に関してご意見も頂いております。見易さと言えば写真を増やしたいと思いますが、報告だけではなく「どんなことを考えているか」などもお伝えしたいと思っています。引き続き文字も多いですが、

ご理解頂ければ幸いです。

年末までは、新型コロナウイルス感染症は抑えられている感もありましたが、今年に入り感染が急拡大しています。引き続き基本的な感染対策(マスク、手洗い、うがい、三密回避、換気など)を徹底し、少しでも体調が悪かったら出かけないなどで、大切な人と私たちの日常を守りましょう！

● 県議会臨時会(1月14日)について

1月14日に一日の会期で臨時会が行われ、年末に成立した国の大型補正予算を最大限活用した県の一般会計補正予算(右表)を原案通り可決致しました。4月からの令和4年度の当初予算と一体的に編成し、切れ目なく需要を喚起する、...としています。(詳細は右のQRコードより)



補正予算の主な内容	総額885億5,932万5千円
新型コロナウイルス感染症から県民の命と暮らしを守る	24億1,414万5千円
産業の下支えとコロナ禍からの復興	353億3,359万3千円
災害に強い県づくり	469億9,910万8千円
脱炭素社会の構築	1億1,441万8千円
子ども・子育て支援	12億8,529万3千円
学びの県づくり	24億1,276万8千円

● 新型コロナウイルス感染症について 《長野県における当面のオミクロン株対応策(1月13日)》

【県の対応について】

オミクロン株については、デルタ株と比べ感染性が高いことが指摘されている一方、重症化しにくい

ことが示唆されているが、今後爆発的な感染拡大を迎えた場合、自宅・宿泊療養や入院治療を要する方が急増し、医療提供体制への負荷が急速に高まるお

それがある、...とし、県は次のような考え方で、県民の皆様の命と健康を守り抜くとしています。

- ①ワクチン接種の推進 「追加(3回目)接種の最大限の前倒し」市町村と連携し、右図のように接種が可能となる日から1か月以内の接種に努める。前倒し対象者については、追加接種を最大限活用して前倒しに努める。
- ②感染急拡大への対応 「療養体制の強化等」「検査体制の強化等」「感染警戒レベル等による対策の実施」「保険所体制の強化」
- ③社会経済活動との両立の検討 社会経済活動の過度な抑制を招かぬよう、全県の感染警戒レベルについては、新規陽性者数の動向も考慮しつつ、入院者数や中等症・重症者数等の医療提供体制への負荷の状況をより重視して運用する など

対象者区分	接種が可能となる日(2回目接種日から...)
前倒しの対象者	
①医療従事者等	
②高齢者施設等の入所者・従事者	
③通所サービス事業所の利用者・従事者	6か月経過後
④病院及び有床診療所の入院患者	
⑤一般の高齢者	7か月経過後
⑥上記以外の者	8か月経過後

新型コロナウイルス
感染症対策
総合サイト



県の情報はこちら

相談窓口一覧

【困ったときの相談先一覧】
症状の相談、差別や不安、企業や農業などの相談先など



お困りごと相談センターは、「どこに相談したら良いかわからない!?!」という方の疑問にお答えするセンターです。026-235-7077 へお電話ください。



「よくあるご質問」はこちらをご覧ください！

※清水まさやすの事務所でもご相談を受けます。

● 11月定例会について

○会期日程など

- 11月24日：会派総会、予算・条例案勉強会
- 11月25日：本会議開会
- 11月30日～12月3日：一般質問
- 12月6～8日：委員会
(総務企画警察委員会は9日も)
- 12月10日：本会議閉会、広報委員会



11月定例会の全体的な内容は1月16日(日)の朝刊に折り込まれた「長野県議会広報第153号」もしくは右のQRコードより議会webサイトをご覧ください



▶Topic 今定例会で記名投票(議長が必要と認めた時に行う)となった議案が2つありました。(自分の名前が書いてある札で賛成ならば白札、反対ならば青札で投票)
●議第6号「選択的夫婦別姓制度等に係る議論の推進を求める意見書(案)」
●議第7号「選択的夫婦別姓制度について慎重に議論し、旧姓の通称使用の法制化を求める意見書(案)」で、どちらも国へ提出する選択的夫婦別姓に係る意見書案ですが、議第6号は自民党県議団を中心に青札29で否決、議第7号は自民党県議団を中心に白札31で可決となりました。(投票総数56)
清水は主に「議論を行うべき」「現状の法的裏付けがあるべき」といった考えから、両方とも白札を投票しました。夫婦間のこともありますが、子どもたちが困らないようにしっかりと議論し結論を導くべきと考えます。

補正予算の主な内容	総額113億2,085万5千円
新型コロナウイルス感染症への対応	63億3,670万9千円
県民生活の安全・安心の確保(大雨災害対応)	49億6,658万8千円
「ゼロカーボン」に向けた取組	642万8千円

一般会計補正予算(上表)など36件を可決。「少子化対策の一層の強化を求める決議」など6件を議員提案で可決しました。

■ 11月定例会での清水の発言等 一般質問

1. 出産や育児によるキャリアのプラス評価について

【質問①】 出産や育児がキャリアにとってプラスになるという価値観を広げるため、まずは県職員が出産や育児休業をキャリアと捉え、昇任条件である経歴や勤務成績に出産や育児休業を加算したらどうか？

【回答 玉井総務部長】 ただちにこれを制度化することは課題があり難しいが、出産や育児取得は意義があり評価するものであり、決してマイナスに評価されるものではないと職員にしっかり周知させる。また、出産や育児を通じて培われた様々な経験を職場復帰後の業務に活かし活躍してもらうことを期待しており、こうしたことも評価につなげたい。

出産育児は素晴らしい経験。キャリア形成にとってプラス評価ならば、出産・育児休業も積極的に取るようになるだろう、...と考え提案。

【質問②】性別を問わず活躍できる社会づくりを目指す「長野県職員いきいき活躍推進プラン」の取組が市町村や民間にも波及するように、しっかりと取り組んでほしいと考えるが、知事の意気込みを伺う。



【回答 阿部知事】「長野県職員いきいき活躍推進プラン」は、女性活躍の推進と職員の子育て支援を進めるという観点で策定した。希望する職員全員が育児休業を取得できる県組織を目指していく、また、女性職員の多様な成長機会を提供していく、さらには私をはじめとする管理職が率先して定時退庁するなど時間外勤務の縮減を目指していく、こうしたことを取り組み、働きやすい職場づくりを進めていきたい。

2. 人口減社会への対応策について

【質問①】人口減少が進む中で地方が継続して存続するためには、定住・移住をゴールとしない人を増やすための取組を行い、「つながり人口」の増加を目指すべきと考えるが、これまでの成果と課題、今後の展開について伺う。

人口減少社会は既に始まっており、地域を継続させるため、「つながり人口の増」が期待されています。

幾つかの取組みの中から市町村に適したメニューを使い、人口減社会の対応策の一つとして、つながり人口増を早期に検討すべきと考えます。ちなみに郡下では、辰野町において特徴ある幾つかの取組みがなされています。

【回答 伊藤企画振興部長】県では、平成31年3月に策定した「信州暮らし推進の基本方針」において、仕事と暮らしをセットで呼び込むことに併せ、「つながり人口」に焦点をあて、施策を重点的、部局横断的に展開している。これまでの成果とすると

●信州リゾートテレワーク	昨年度は210人	※県が経費を支援した実施者のみ
●おためしナガノへの応募者	募集枠の3倍近い58組、91人	首都圏のIT人材を対象に、県内で半年程度住んで仕事をしてもらう
●信州つなぐラボ	これまでに7市町村で実施	都会の人が県内の地域住民と一緒に地域課題に取り組む
●SuuHaa(スーハー)	8か月間で累計175,000件のアクセス	移住情報の包括サイト
●ニブンノナガノ		二地域拠点に関心がある方向けの情報サイト

※これらの事業では、事業終了後も参加者がその地域に継続的に関わり続ける、つまり県内に拠点を残して二拠点生活をしながら仕事をする、具体的に県内へ移住したケースなどもある。

などがあるが、さらに本年度情報発信機能を充実させた「銀座 NAGANO」において副業人材を活用し、クリエイティブ系の若者と長野県とのつながりを具体化する事業も実施している。

県としては、2年度、市町村や企業が参加する「田舎暮らし「楽園信州」推進協議会」内につながり人口に特化したコンソーシアムを設置した。ここで勉強会を開催したり様々な事例を共有するなどによって、各地域が「つながり人口」に取り組み易いきっかけづくりを行い、「つながり人口」の創出・拡大に向けた取組を進める。



【つながり人口】：いわゆる関係人口のこと。関係人口とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た交流人口でもない、**地域と多様に関わる人々を指す言葉**。地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しているが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、**関係人口**と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されている。一方「つながり人口」は市町村から見ると、移住に比べ税収増などの具体的なメリットが見えにくいことから、関心はあるがなかなか取り組みにくい、また、一度築いた関係性を維持していくことが容易ではない、...などの意見もある。



【質問②】「交流人口」や「つながり人口」を増加するためには、地域で中心となる人物の育成と継続性が必要と考えるが？

【回答 伊藤企画振興部長】好事例の地域には、その地域と外部とをつなぐ、熱い志をもった熱量のあるキーパーソンがいて、そういった方を核として人が人を呼ぶ、「つながり人口」の拡大の流れが生まれている。ただ、こうした人材は、必ずしも最初から地域にいるわけではなく、必要に応じて外部から人を呼んでくる、また、地域内で様々な活動を通じて少しずつ育てていく必要がある。県も、キーパーソンとなりうる地域おこし協力隊員の定着や地域活動を支援するファシリテーターの養成・その活動支援を行っている。

■委員会（環境文教委員会所属）質問では

（文教委員会）令和2年度の小中高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は、8,638件（前年度10,198件）。新型コロナウイルスによる物理的な距離の広がりや授業日数の減少の影響が考えられる。

Q. いじめ発見のきっかけは、本県は本人からの訴えが多いが？

A. 「生活の記録」の記載内容からの発見が多い。

Q. 児童生徒からの訴えで「いじめ」と認識しないことはあるか？

A. 疑いも含めていじめと認識して全て調査している。

（環境委員会）多様な主体がゼロカーボン社会を共創していく拠点を開設し、環境で世界を牽引する「サステナブル NAGANO」の確立を目指す。

Q. 拠点の場所は？高校生など若者はどう関わるのか？

A. 場所は長野市内を考えている。大学生だけでなく高校生や子どもたちなども含め、意欲ある自治体、企業、団体、NPO、グループなどとゼロカーボンに向けて行動したい。

【清水の考え】県都とは言え、様々な拠点が長野市内に置かれることが多い。DXなどの推進で拠点の分散化を進めるべき。ゼロカーボンやサステナブルな社会の構築には、次世代に主役を担って貰い、我々はサポート、...ぐらいの感覚が必要と考えます。



●その他の活動について（抜粋）

●議場説明

11月末まで、多くの小学生の社会見学（県庁見学）が行われました。これまででもお知らせした通り、広報委員として子どもたちに説明しています。（上伊那の学校も幾つか担当しました）



●11/11

飯島町の方々と人工芝グラウンドの視察調査で松本市や筑北村を訪問。上伊那に人口芝グラウンドを！



●11/19

国道153号改良などの期成同盟会の建設部長要望活動に同席。

●12/2

「こんにちは県議会です」高校生からのプレゼンと意見交換。児童生徒だけでなく自分も探求しなければと感じました。



●12/21

宮田村の現地調査に参加し、歩道の整備要望箇所などを調査。



●年末年始

上伊那郡下の6町村を積極的に訪問。

●1/4

プロ野球西武ライオンズの水上由伸選手の後援会理事会に出席。上伊那の野球少年・少女の期待を背負って今年も活躍を！

●1/6

箕輪町より県道442号（県道諏訪箕輪線：もみじ湖につながる道路）の改良等の要望を頂く。

・・・その他にも総会出席や地元の要望活動の同行、調査活動など積極的に行いました。

●次回定例会の日程（予定）

- 2月16日：本会議、開会
- 2月22日：各党派代表質問及び質疑
- 2月24日～3月2日：一般質問
- 3月4～10日：委員会（総務企画警察委員会は11日も）
- 3月14～16日：本会議、採決等、閉会

※土日除く

お知らせ

今年も1年分（昨年5月に発行した第8号～今号第11号）をまとめて郵送させていただきます（活動報告は新聞折り込みを基本に配布していますが、ご住所など頂いている方には、年に一度、まとめて郵送しています）。もし、ご希望の方がいらっしゃいましたら下記梓外事務所までご連絡をお願いします。

あとがき

昨年も春の凍霜害、夏の大雨などの災害が発生してしまいました。新型コロナウイルス感染症もオミクロン株の拡大が続いています。本年は災害が少なく、コロナも落ち着くことを祈念するばかりです。明るい年にしたいですね！